



東京消防庁救急相談センター 救急相談看護師

救急相談看護師長 インタビュー

ポクが聞きました!



救急相談看護師の仕事 (東京消防庁救急相談センター)

東京消防庁救急相談センター(#7119)では、都民が急な病気やけがで「病院へ行くべきか」「救急車を呼ぶべきか」など迷った際の相談に対応しています。救急相談は、98種類のプロトコルを用いて、常駐する相談医と連携し、医学的な質を保ちながら、相談に対応しており、次のアドバイスなどを行っています。

- ①症状に基づく緊急性の有無
- ②受診の必要性
- ③医療機関案内

Q. どの様な救急相談が多いですか?

A. お子様の発熱です。お子様の急な発熱は、相談者が慌ててしまうケースが多く、相談者を落ち着かせながらお話を聞いています。

Q. 電話がつながると、どの様な質問をするのですか?

A. 誰がどんな具合での相談なのか、その症状はいつから続いているのかなどを聞いています。医師とも相談の上、緊急性を判断しています。

Q. その結果、どんなアドバイスをしてもらえるのですか?

A. 緊急性が高い場合は、救急車の要請を行います。その他の場合には、病院を受診するべきタイミングや受診科目などをアドバイスしています。



病院へ行く? 救急車を呼ぶ? 迷ったら...
電話でも! ネットでも!

#7119

こちらからもつながります
23区 03-3212-2323
多摩地区 042-521-2323

MINIコラム

消防団は普段何してるの?

【普段の消防団 活動風景】



防災教育



地域のお祭りなどの警戒活動



消火器の使い方や応急救護などの指導

消防団は、本来の仕事や学業・家事をしながら、「自分たちのまちは自分たちで守る」という使命感のもと、さまざまな活動を行っています。消防団の活動は災害時だけではなく、普段から地域の防災力を高めるための活動に取り組んでおり、現在では多くの女性や学生も活躍しています。

あなたも首都東京を守る消防団員になってみませんか。

消防団員募集

- 入団条件** 18歳以上の健康な方であれば入団資格があります。
- 問合せ先** 23区の方は最寄りの消防署・消防団本部まで、市町村の方は各市町村まで。

詳しくは、東京消防庁HP「首都東京を守る消防団」をご覧ください。



お楽しみプレゼントコーナー

ご応募いただいた方の中から抽選で119名様に「東京消防庁オリジナルカラビナ付きポーチ」をプレゼント!!



携帯に便利なカラビナ付きポーチ!
商品サイズ:10×17.5×2cm
どの色が届くかはお楽しみ!

さらに「#7119マグネット」もプレゼント!

<応募方法>ハガキに①住所②氏名③年齢④性別⑤職業⑥広報とうきょう消防をご覧になった感想をご記入のうえ、下記の宛先までご応募ください。

〒100-8119 (住所不要)
東京消防庁広報課
「広報とうきょう消防」編集担当

<締切>平成30年9月3日(月)必着
(応募はお1人様につき1枚といたします。)

<当選発表>プレゼントの発送をもって発表といたします。

※応募の際にご記入いただきました個人情報につきましては、抽選及びアンケート集計事務にのみ使用いたします。

おたたくさんのご応募お待ちしています!

